


1 言語活動の充実と読書活動の推進

学習の基盤となる言語に関する資質・能力の育成を重視し、思考力・判断力・表現力等を身に付けさせるため、国語科はもとより、各教科等の教育活動の中で、言語に対する関心や理解を深め、言葉で表現する活動の充実に努める。豊かな語彙と表現力、創造性を育成するために学校図書館の機能を充実させ、全ての教育活動で読書活動を推進する。

全教育活動における言語活動の充実

- ◇学習活動の基盤となる言語に関する資質・能力の育成を重視し、思考力・判断力・表現力等を育むために言語活動の充実を図る。
 - 〈思考の場面での言語活動例〉
 - ・資料（文章）から必要な情報を読み取り、目的に応じて整理・分析し、自分の意見を形成する。
 - ・他者との意見交流や対話を通して、自分の考えを見直したり深めたりする。（ペア、グループでの意見交換・討論・インタビュー等）
 - 〈表現の場面での言語活動例〉
 - ・自分の考えや意見を、他者に説明する。（プレゼンテーション、ポスターセッション、スピーチ、レポート等）
 - ・相手や目的に応じた様々な文章を書く。（メモ、記録、記事、手紙、日記、創作、メール、ポスター等）
- ◇言語に関する資質・能力の育成を図る上で必要な言語環境を整える。
 - ・学校生活全体における言語環境の整備の促進（デジタルとアナログの併用等）
 - ・教科横断的な視点での言語活動のカリキュラム・マネジメント（習得した「言葉の力」を日常生活・社会生活で活用する場の設定等）

学校教育における読書活動の充実

- ◇学校教育における読書の位置付けを明確にして計画的に取り組む。
 - ・一斉読書など、読書習慣を身に付ける多様な読書活動の実施
 - ・推薦図書「香川の子どもたちに贈る 100 冊(R3)」の効果的な活用 
 (<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyouji/gimukyoku/gakko/gakuryoku/sonota/100satu2.html>)
 - ・「読書だより」の発行等、児童生徒の読書意欲を高め、家庭と連携する読書活動の推進
- ◇読書センター、学習センター、情報センターの役割を果たす学校図書館の活用をGIGAスクール構想の中に位置付けて、計画的に進める。
 - ・学校図書館活用に係る年間指導計画の作成
 - ・各教科等において学校図書館を計画的に活用した教育活動の展開
 - ・特別活動において、学校図書館の利用について指導の場を設定
 - ・校内での協力体制やボランティアの活用等、人的環境の整備

■関連資料

- 「言語活動の充実に関する指導事例集」【小学校版】平成22年12月【中学校版】平成23年5月 文部科学省
- 「小学校・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則篇」 第3章第2節（2） 文部科学省
- 図書館実践事例集 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～ 令和2年3月 文部科学省

(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/mext_00768.html) 

○「学校図書館図書標準」達成学校数の割合の推移 (%)

	小学校 (全国)	中学校 (全国)
平成28年度	87.2 (66.4)	73.5 (55.3)
令和2年度	85.3 (71.2)	65.7 (61.1)

○「一斉読書」を週1回以上実施している学校の割合の推移 (%)

	小学校 (全国)	中学校 (全国)
平成28年度	96.3 (89.5)	63.2 (79.3)
令和2年度	81.5 (79.2)	58.2 (77.9)

「学校図書館の現状に関する調査」から（※それぞれ前年度の実績値）

○ 教育基本計画指標（県学習状況調査質問紙調査）

指 標	現 状	令和7年度の目標
「読書は好きですか」との質問に、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 79.7% 中学校2年生 74.0%	小学校5年生 82% 中学校2年生 75%

■主な事業 ○新任司書教諭研修会 令和5年6月27日 県教育センター